

平成29年度



家庭学習の充実に向けて

〔保護者向けリーフレット〕

黒部市立荻生小学校

家庭学習って大事なの？

子供たちの学力の向上を図るために、とても重要です。

子供の自ら学ぶ力を伸ばすために、限られた時間を有効に使い家庭学習を充実させましょう。

家庭学習は、どれくらいすればいいの？

めやすは、『10分×学年』です。意欲があればもっとしてもかまいません。一日の中で、一定の時間、毎日継続して取り組むことがポイントです。量は学年や個人に応じて、めあてのページを決めるとよいでしょう。

荻生小学校では、子供たちが意欲的に自学ノートに取り組むことができるように、「自学ノートカバー」を使っています。ノートが1冊終わるごとに担任からシールを渡したり、7冊達成した子供には、校長先生から大きな金メダルシールを渡したりしています。28年度は79人(57%)が達成しました。



家庭学習の進め方

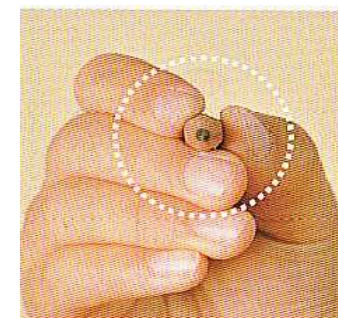
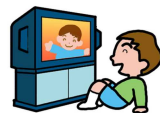
- ①宿題をする。
- ②「自学ノート」に取り組む。(読書もするとよい)
- ③次の日の準備(鉛筆を削る、時間割、持ち物の準備)をする。

生活のリズムを整える

- ◎「早寝」「早起き」「朝ご飯」の生活リズムを身に付けましょう。
- ◎特に「十分な睡眠をとる」ことが大切です。

生活をコントロールする力を身に付ける

- ◎家庭で使える時間は限られています。時間の使い方を工夫し、生活を自分でコントロールすることが大切です。
- ◎テレビやゲームの時間を親子で話し合って決めましょう。
- ◎時間や場所を決めて学習しましょう。



一日の生活リズム・生活習慣を大切にしましょう！

正しい箸や鉛筆の持ち方を身に付ける

- ◎家庭でも箸や鉛筆を正しく持つ習慣を付けましょう。



家庭学習のための約束事・心がけ

子供との約束



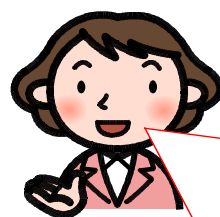
- ①勉強に向かう心構えをしっかりとつこう。(学習のめあてをもとう)
- ②時間を決めて、毎日取り組もう。(「10分×学年」以上)
- ③「ながら勉強」はやめよう。(テレビを見ながら、おやつを食べながら)
- ④机の上をきれいにしてから始めよう。(遊び道具や漫画を置かない)

保護者の心がけ

☆子供の「自ら学ぶ力」を伸ばすには、家族の関わりがとても大切です。

- ①子供のがんばりを認めて、ほめて意欲を高める。(丸付けやコメントを入れる)
- ②親子の触れ合いの場にする。(親子読書、一緒に考える・調べる)
- ③学習しやすい環境づくりをする。(テレビを消す、一緒に読書をする)

こんな一言を



【1・2年生】※がんばったことをほめてほしいと思っています。

- ・国語の教科書の音読を聞かせて。
- ・一緒に九九を言ってみよう。
- ・できることが増えたね。

【3・4年生】※何にでも興味を示し、好きなことに熱中します。

- ・計算が正確になってきたね。
- ・約束を守ってゲームの時間をがまんできたのはえらいね。
- ・好きな教科は何か。どんなところが好きなの。

【5・6年生】※自分ではできているので、かける言葉に配慮が必要です。

- ・自分から進んで、学習を始めることができたね。
- ・計画通りにがんばっているね。
- ・毎日の学習は着実に自分のためになっているね。



子供の生活を確認してみましょう。☑

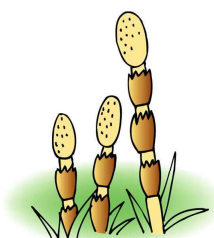
【子供の様子】

- ☐ 起きる時刻を決めていますか。
- ☐ 寝る時刻を決めていますか。
- ☐ 朝食をしっかり食べていますか。
- ☐ 今、学校でどのような学習をしているかを知っていますか。
- ☐ 子供がどのような学習用具(筆箱・ノート等)を使っているか知っていますか。
- ☐ 読書をする習慣が身に付いていますか。
- ☐ 時間や場所を決めて学習していますか。
- ☐ 宿題をしていますか。



【親の関わり方】

- ☐ テレビやゲームの時間を決めていますか。
- ☐ 家庭学習について声かけしていますか。
- ☐ 将来の夢や目標について話合っていますか。



どんなテーマで取り組めばいいのかな？

1・2年生

宿題+自学ノート+読書



子供に寄りそって、やる気をおこす

○できるだけ一緒に過ごしましょう。(できないときは後で声掛けを)

- 例
- ・理解を深めるために教科書の音読をする。
 - ・確実にできるように計算練習をする。
 - ・かけ算の定着を図るために九九の練習をする。
 - ・想像力を豊かにするために読書をする。
 - ・言葉集めをして語彙を豊かにする。など

3・4年生

宿題+自学ノート(予習・復習)
+読書



認めて、ほめて、自信をつける

○温かい励ましの言葉で自信を付けましょう。

- 例
- ・定着を図るために繰り返し漢字練習をする。
 - ・速く確実にできるように計算練習をする。
 - ・国語辞典に慣れ親しむために意味調べをする。
 - ・正答できなかったテストの問題をもう一度やってみる。
 - ・国語の力を付けるために音読練習をする。など

5・6年生

宿題+自学ノート(予習・復習)
+読書



見守って 伸ばす

○子供の話をよく聴き、自ら進んで学習に取り組めるように見守りましょう。

- 例
- ・速く確実にできるように計算練習をする。
 - ・図鑑、事典等で疑問に思ったことを調べる。
 - ・熟語を使えるようにするために短文づくりをする。
 - ・読解力を付けるために読書をする。
 - ・人物調べをして、歴史学習への興味・関心を高める。
 - ・正答できなかったテストの問題をもう一度やってみる。など